

と しょ かん だ よ 図書館便い LIBRARY NEWS



第3号

発行日:2021年6月24日(木)

発行者:図書館司書(石井)

6月の読書目標

戦争と平和に
関する
本を読もう

平和月間です

6月23日は慰霊の日です。図書館の前や2階のロビーには、学習図書委員のみなさんが沖縄戦のパネルを掲示してくれました。戦争と平和に関する本は、いくつかピックアップしてコーナーを作って、図書館の中に置いてあります。学級の取り組みで本を探すこともあると思いますので、役立ててくださいね。

課題図書と指定図書も全部そろいました。感想文、感想画を書くために学年別に本が選ばれています。宿題に出たりすると借りたくても借りられなくなってしまいますので、今のうちに読んで、本を選んでおくといいと思いますよ。



本の紹介



●『ぼくのあいぼうはカモノハシ』

学校の帰り道でカモノハシを見つけた。そいつは変なことばかりしゃべる。ぼくはドイツに住んでいて、お母さんとお姉ちゃんはいるけど、お父さんは仕事でオーストラリアにいる。そしたらカモノハシの奴、そこは自分のふるさとだから、いっしょに行こう、って言うんだ。そんなのできるわけじゃないか。



●『オードリー・タンの思考』

台湾のデジタル大臣、史上最年少35才での入閣、IQ180以上、トランスジェンダー…話題にことかかない彼女。8才の時、「お前がいなくなれば自分が1番になれるの」と同級生に言われ、成績というものが1人1人の到達目標であるなら勝ち負けは存在せず、いじめの理由も無いのではと、いじめの仕組みと当時の教育の問題点に気付いてしまう。



●『52ヘルツのクジラたち』

親がいつも正しくて、子供を大事にすると限らない。だからといって間違っていると限らない。だからクジラ達は今日も誰にも聞こえない声で泣く。そんな自分でさえ気が付かなかった悲鳴に気付いてくれた人がいた。わたしはその人に助けられた。でも、その人も悲鳴をあげていたのだ。だからわたしは、もうその声を聞き逃さない。2021年本屋大賞。

読み聞かせについて

毎週月曜日は読み聞かせの日です。中学生、小学校5、6年生、職員が入れ替わりで担当しています。中学生も小学校高学年も、今年度からは自分たちで本を選んで読み聞かせしています。最初はただ読むだけで終わってしまうと思いますが、2回目は、どうしたらお話が伝わるだろう?聞いている人が楽しんでくれるだろう?ということも考えてみてくださいね。

